

体験者	牧野 百合絵	期間	2019/02/24 - 2019/03/10
受入れ先	光語学スクール	担当者	青木 貴之
テーマ	世界で活躍できる医療人～日本語を通じて子供達を健康に～		

日付	体験日誌
2 25	英語の授業×3 日本語の授業×2 ダンスの授業
2 26	英語の授業×3 日本語の授業×2 ダンスの授業
2 27	英語の授業×4 日本語の授業×2
2 28	英語の授業×4 日本語の授業×2
3 1	英語の授業×4 日本語の授業×2



受け入れ先コメント

I am Oracle Kim and I'm an English teacher at Hikari School. I would like to say thanks for your time here about 1 week and share the experience each other. I wish to see you next time and please keep well and healthy till we meet again.

1 週間の感想と目標

カンボジア人の先生しかおらず、最初は右も左もわからない状態でしたが、先生方があたたかく出迎えてくれて、手厚くサポートして下さったおかげで授業することが出来た。子供達は最初私に緊張していたのか、あまり話すことが出来なかったが、日数が経つにつれてたくさん話してくれたり、遊んでくれたりして楽しかった。

英語の授業は日本と大きく異なっていた。日本では 5 文程度の会話の中にある文型やイディオムなどを見つけていったが、カンボジアでは一つの肯定文を、疑問形や非定型にしたり、名詞を変えたり、という学習方法だった。どちらが良いとは一概には言えないが、会話で使うという点では、日本が優れているのではないかと考える。

1 週間が経ちカンボジアの生活には慣れてきたが、やはり毎日驚きの連続である。来週からシェムリアップに移動し、新しい環境になるがこの 1 週間で得たものを活かし頑張っていきたいと思う。

日付	体験日誌
3/2	ロシア病院、サンライズジャパン病院見学
3/4	英語の授業×3 日本語の授業×3
3/5	日本のボランティアサークルとの交流 歌、ダンス、衛生教育、朗読 日本語の授業×3
3/6	日本語の授業×3
3/7	日本語の授業×3



受け入れ先コメント

シェムリアップでは主にひらがなのクラスとみんなの日本語のクラスを担当してもらいました。最初はお互い緊張しているようでしたが、発音練習やゲームをするにつれて打ち解けていました。短い間でしたが、カンボジアでの経験をこれから活かしていただけたら嬉しいです。

1週間の感想

病院見学では、カンボジア人はカンボジア人の医者信用しておらず中～高所得層はタイなどの病院に行くという現状を知った。サンライズジャパン病院、その現状を変えて、カンボジアで治療を受け、カンボジアの経済が潤うように努められており、感銘を受けた。今まではボランティアとして医療人が発展途上国に行くという形しか知らなかったのも、新たな選択肢が増えて良かったし、勉強になった。

シェムリアップ校では、初めて一人で日本語の授業を持たせてもらい、最初は出来るのか不安だったが、子供達はとても学ぶ意欲があり、楽しく授業することが出来た。シェムリアップ校はプノンペン校より大きい子供が多いからなのか、英語のレベルが高かった。そのため日本語を取っていない生徒とは英語でコミュニケーションが取れたり、日本語で言ったことを理解できない際には英語で通訳出来たので、よりわかりやすく授業することができ、より充実した日々を送ることが出来た。しかし、今まで当たり前のよう使っていた表現には、他の表現の仕方もあり、その微妙なニュアンスの違いを説明するのが難しいと感じた。日本のボランティアサークルとの交流の際には、子供達が一生懸命練習していた歌や朗読を発表している姿を見ると感動し、先生という職業のやりがいを感じました。

インターンシップを体験して

体験先：Hikari International School1(プノンペン)・光・共立スクール (シェムリアップ)

体験内容：世界で活躍できる医療人～日本語を通じて子供達を健康に～

体験期間：2019年2月24日 ～2019年3月10日

体験者名：牧野 百合絵

<体験感想>

私はクメール語がわからなかったが、子供たちは笑顔で抱きしめてくれたことや、一緒にゲームをしたことを通して、心が通じ合うことが何より大切であると感じた。しかし、言語を教える上ではやはり、クメール語を話せたら良かったと感じることが多かったので、次回行く機会があれば、クメール語を勉強し、より充実した日々を送りたいと思った。カンボジアは、インフラ、教育、経済などさまざまな問題を抱えているが、子供達がきちんと教育が受けられる場所を作ること、国もより良くなっていくのではないかと考える。また、子供たちが語ってくれた素敵な夢を叶えられる国になってほしい。

受入れ担当者：光語学スクール 英語教員 Sreyleak Tuon 2019年3月18日

<コメント>

I would like to thanks to you. I and other Staffs at Hikari International school welcome for your Experience and your present here. I hope that if have a chance you will come here again. Best wishes to you. Thanks with love.